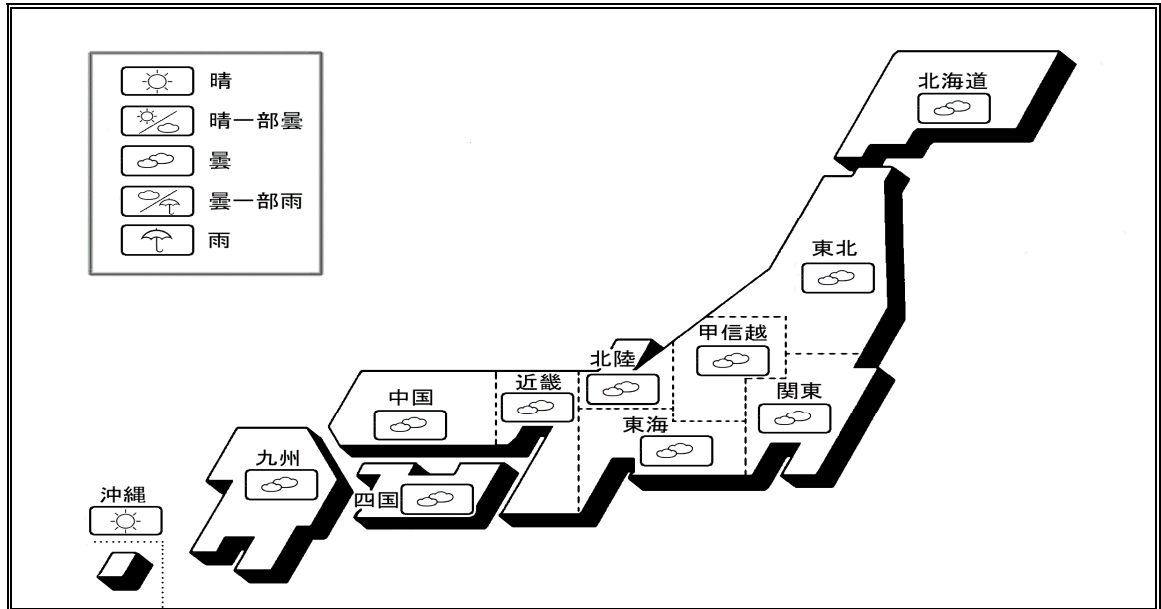


地方経済天気図（平成 27 年 6 月）

～ 緩やかな回復～



各地の景況感



- ・近畿、九州...個人消費は衣料品、飲食料品が増加し、底固い動き。アジア向け輸出が減少。生産は電子部品が増産。
- ・北海道、北陸...公共工事は弱含んだものの、個人消費が緩やかに持ち直し、住宅建築も下げ止まり。外国人観光客の入込が増加。
- ・東北、東海...生産は電気機械が減産。輸出が持ち直し。設備投資は全体として横這い圏内。
- ・関東、四国...生産は横這いとなったものの、個人消費、公共工事が上向き。
- ・甲信越、中国...住宅建築が弱含み、生産も足踏み。



- ・沖縄...観光は国内客、外国人客ともに増加し好調を持続、個人消費も持ち直し。

地域別天気マークの推移・詳細（平成27年 6月）

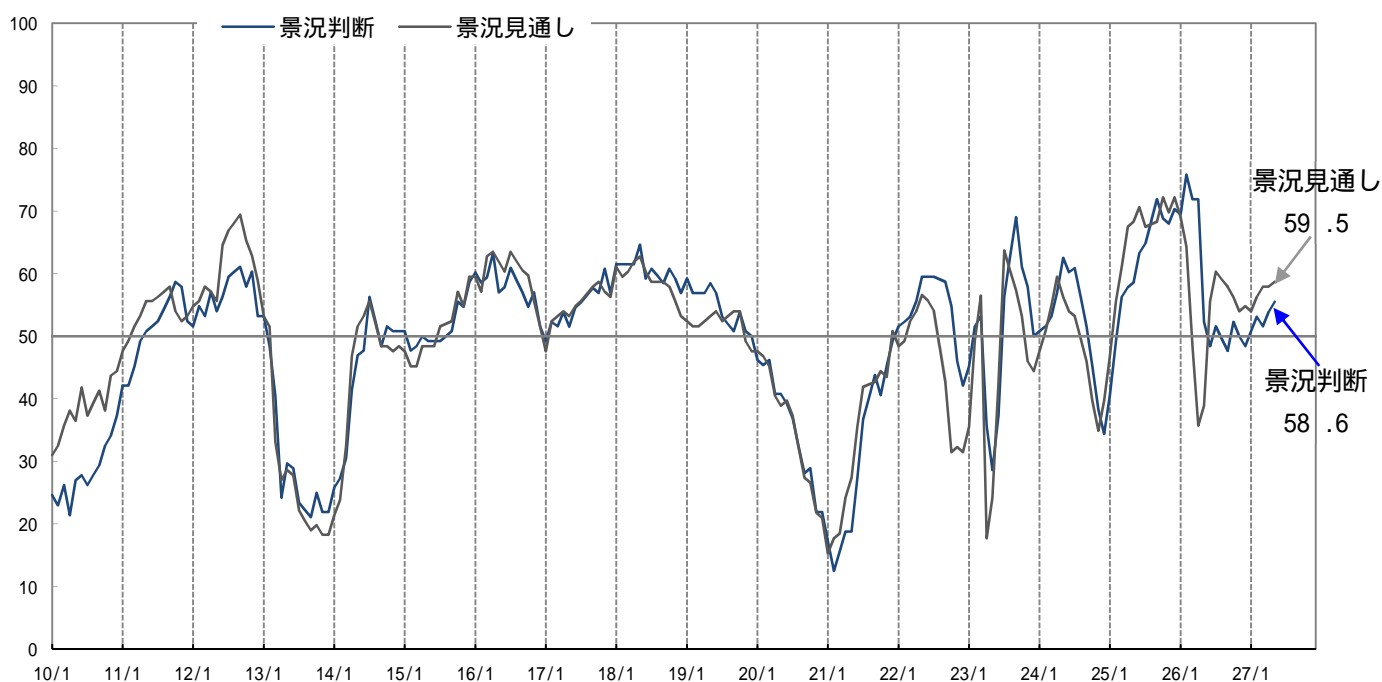
	平 26 年						平 27 年					
	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道		→										
東 北		→										
関 東		→										
甲信越		→										
北 陸		→										
東 海		→ ↓ ☁ / ☔ ↑ ☁										
近 畿		→										
中 国		→										
四 国		→										
九 州		→										
沖 縄		→										

	景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
北海道					↓ ☁ / ☔			☁ / ☔	☁ / ☔
東 北		☁ / ☔							☁ / ☔
関 東					↑ ☁ / ☔				
甲信越			↓ ☁ / ☔			↓ ☁ / ☔		☁ / ☔	
北 陸					☁ / ☔			☁ / ☔	
東 海			☁ / ☔						☁ / ☔
近 畿			☁ / ☔			☁ / ☔			
中 国		☁ / ☔							☁ / ☔
四 国						☁ / ☔			☁ / ☔
九 州									☁ / ☔
沖 縄		☁ / ☔	☁ / ☔	☁ / ☔					☁ / ☔

(注) 矢印は、前月から天気マークが変わったことを表す。

< 参考 > 地方経済天気図 D I (注) の変化と景況判断

	平成27年 4月	5月	6月
景況判断：緩やかな回復	53.9	55.5	58.6
景況見通し：緩やかな回復が続く	57.9	58.7	59.5
個人消費：大型小売店販売が衣料品、食料品を中心に増加するなど、緩やかな持ち直し	(48.4	50.0	56.3)
住宅建築：分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、足踏み	(46.1	54.7	53.9)
設備投資：慎重な投資姿勢が続いている	(53.9	50.0	54.7)
公共工事：発注件数の減少が続き、弱含み	(45.3	44.5	45.3)
輸出：アジア向けが伸び悩み、足許一服	(55.8	53.8	51.9)
生産活動：電気機械の減産など一部に弱さがみられるものの、電子部品・デバイスが増産し、全体としては横這い圏内	(60.2	53.9	55.5)
観光：温泉地、観光地の入込が増加	(54.5	59.8	58.9)
雇用情勢：新規求人が増加し、好調	(61.7	61.7	62.5)



(注) 地方経済天気図 D I とは、本調査に回答した全国地方銀行協会加盟行の景況や需要項目等に関する現況判断 (好転・不変・悪化) を数値化したもの。算式は以下のとおり。

$$D I = \frac{\text{「好転」} \times 1.0 + \text{「不変」} \times 0.5 + \text{「悪化」} \times 0.0}{\text{回答銀行数}} \times 100$$

北海道 

北海道の景況は、公共工事、輸出が弱含んでいるものの、個人消費、設備投資が持ち直すなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、大型小売店販売、スーパー販売ともに増加し、緩やかな持ち直し。住宅建築は、持家、貸家が減少したものの、分譲住宅が大型マンション着工により大幅に増加し、下げ止まりの兆し。設備投資は、小売関連施設、宿泊施設などで新設・改修の動きがみられるなど、持ち直し基調。公共工事は、国、道が増加したものの、独立行政法人等、市町村が減少し、減少傾向。輸出は、魚介類および調整品が増加したものの、輸送用機器、鉄鋼が減少し、弱含み。

生産活動は、鉄鋼、金属製品が減少したものの、パルプ・紙・紙加工品が増加し、持ち直しの兆し。


- ・鉄鋼は、生産水準が低下。特殊鋼棒鋼が減産。
- ・金属製品は、生産水準が低下。食缶が減産。
- ・一般機械は、生産水準が低下。化学機械（石油化学リアクター）が減産。
- ・電気機械は、生産水準が上昇。無線通信装置、集積回路が増産。
- ・輸送機械は、生産水準が上昇。自動車駆動伝導装置が増産。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が低下。生コンクリート、セメントが減産。
- ・石油・石炭は、生産水準が上昇。軽油が増産。
- ・パルプ・紙・紙加工品は、生産水準が上昇。雑種紙が増産。
- ・食料品は、生産水準が上昇。チーズ、ビールが増産。

観光は、外国人客を中心に来道者数が増加し、回復。

- ・4月の来道者数は、6か月連続で前年比増加。外国人客も27か月連続で増加。円安などを背景にアジアからの観光客が引続き増加。

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、新規求人数も増加するなど、緩やかな回復。

先行きは、緩やかな持ち直しが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

(注) 景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会で行きまとめたもの。

東北の景況は、公共工事が足許減少した一方、住宅建築が上向き、個人消費、輸出が持ち直すなど、やや上向き。

個人消費は、乗用車販売が普通・小型乗用車、軽乗用車ともに減少したものの、百貨店販売、スーパー販売ともに増加し、一部持ち直し。住宅建築は、分譲住宅が減少したものの、持家、貸家が増加し、上向き。設備投資は、需要の先行き不透明感から、一部に投資抑制姿勢がみられるなど、伸び悩み。公共工事は、独立行政法人等、市町村が増加したものの、国、県が減少するなど、足許減少。輸出は、非鉄金属、一般機械が増加し、持ち直し。

生産活動は、窯業・土石製品が増加したものの、電気機械が減少するなど、横這い圏内。

- ・鉄鋼は、生産水準が上昇（青森）。非鉄金属は、生産水準が上昇（秋田）。
- ・金属製品は、生産水準が上昇（秋田）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（宮城） 低下（秋田、山形）。生産用機械の生産水準が上昇、業務用機械は、生産水準が低下（青森）。産業機械、金型が減産、電子部品製造装置が増産（山形）。
- ・電気機械は、生産水準が低下（青森）。
- ・情報通信機械は、生産水準が低下（岩手、山形）。
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（秋田） 低下（青森、岩手、宮城、山形）。電子部品が増産、集積回路、半導体素子が減産（山形）。
- ・輸送機械は、生産水準が上昇（岩手） 低下（山形）。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が上昇（岩手）。
- ・化学は、生産水準が上昇（青森）。
- ・プラスチック製品は、生産水準が上昇（岩手）。
- ・パルプ・紙・紙加工品は、生産水準が低下（青森）。
- ・繊維は、生産水準が低下（秋田）。
- ・食料品は、生産水準が上昇（青森、山形） 低下（岩手）。リンゴは、県外出荷量が増加（青森）。清酒は、出荷量が増加（秋田）。調理食品、肉製品が増産、菓子類、農産保存食品が減産（山形）。
- ・鉱業は、生産水準が低下（福島）。

観光は、観光地への入込客が増加するなど、上向き。

- ・5月の県内主要観光地・観光施設の入込客は、客足が伸び持ち直し（秋田）。
- ・大型連休期間中の県内主要観光地の入込客は、前年比減少（岩手）。
- ・大型連休期間中の県内主要観光地・イベントの入込客は、前年比増加（山形）。
- ・4月の主要観光施設、主要宿泊施設ともに前年比増加（青森）。
- ・3月の県内3地区（福島、郡山、会津若松）の温泉旅館利用者数は、前年比減少（福島）。

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、医療・福祉で新規求人数が増加するなど、緩やかながら回復に向けた動き。

先行きは、緩やかな持ち直しに向かうとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

関東

関東の景況は、生産活動が足踏みとなったものの、公共工事が上向きとなり、輸出が持ち直すなど、上向き。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、百貨店販売でインバウンド効果から化粧品や高額品が増加したほか、コンビニエンスストア販売も増加するなど、一部持ち直し。住宅建築は、貸家が減少したものの、持家、分譲住宅が増加し、緩やかな回復に向けた動き。設備投資は、製造業、非製造業ともに投資計画を積み増す動きがみられるなど、持ち直し基調。公共工事は、都県、市区町村が増加し、上向き。輸出は、米国向けを中心に鉄鋼、原動機、科学光学機器が増加し、持ち直し。

生産活動は、化学、石油・石炭製品が増加したものの、輸送機械、電気機械が減少するなど、足踏み。



- ・鉄鋼は、生産水準が低下（茨城、千葉）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（茨城） 低下（栃木、神奈川）。業務用機械、汎用機械は、生産水準が低下（千葉）。生産用機械は、生産水準が上昇（埼玉、東京）。半導体製造装置、ダイガストマシンが増産、自動改札機・自動入場機、プレス用金型、蒸気タービン部品が減産（神奈川）。
- ・電気機械は、生産水準が上昇（茨城、群馬） 低下（栃木、東京、神奈川）。
- ・情報通信機械は、生産水準が上昇（群馬、神奈川） 低下（栃木、東京）。
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（千葉、神奈川） 低下（群馬、東京）。
- ・輸送機械は、生産水準が上昇（群馬、東京） 低下（栃木、埼玉、千葉、神奈川）。
- ・化学は、生産水準が上昇（千葉、神奈川） 低下（茨城、栃木）。
- ・石油・石炭製品は、生産水準が上昇（千葉）。
- ・プラスチック製品は、生産水準が上昇（千葉）。
- ・繊維は、洋装品の婦人服地、和装品の浴衣用帯地の受注が前年並み（群馬）。
- ・食料品は、生産水準が上昇（埼玉、神奈川） 低下（栃木、千葉）。

観光は、外国人客を中心に観光地への入込が増加するなど、上向き。

- ・5月の世界文化遺産の「富岡製糸場と絹産業遺産群」の観光客数は、前年比増加。4月の県内主要温泉地宿泊客数は、外国人観光客の増加などから、前年比増加。（群馬）
- ・4月のベイエリアホテルの客室稼働率は、高水準を維持（千葉）
- ・4月の県内ホテルの客室稼働率は、横浜、箱根とも前年比上昇（神奈川）
- ・大型連休中（4月25日 - 5月6日）の県内観光地は、入込客数が前年比増加（茨城）。

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、新規求人数も増加するなど、緩やかな持ち直し。

先行きは、緩やかな持ち直しに向かうとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

甲信越

甲信越の景況は、住宅建築が弱含み、輸出が低調となるなど、持ち直しの動きが一服。

個人消費は、乗用車販売が普通・小型乗用車、軽乗用車ともに減少したものの、百貨店販売で衣料品、スーパー販売で食料品が増加するなど、横這い圏内。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家が減少するなど、弱含み。設備投資は、医療・介護関連施設が堅調に推移するなど、やや上向き。公共工事は、国、県が減少し、弱含み。輸出は、建設用・鉱山用機械、非鉄金属などが減少し、低調。

生産活動は、情報通信機械が増加したものの、輸送機械、電気機械が減少し、足踏み。

- ・非鉄金属は、生産水準が上昇。電線・ケーブルなどが増産（長野）
- ・金属製品は、作業工具や建設用を中心に持ち直し。金属洋食器の受注が弱含み（新潟）
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が低下。金型などが減産（長野）。工作機械は、高水準で推移。自動車関連の受注が減速、建設・プラント向け大型機械の受注は概ね堅調。IT、デジタル関連の受注は国内・米国向けを中心に堅調（新潟）。半導体製造装置の受注・生産が好調。光ピックアップレンズは高付加価値品の受注・生産が堅調。携帯電話用レンズは、受注・生産が足許減少。医療機器は、受注・生産が横這いで推移（山梨）。鋳物は受注が戻り基調（新潟）
- ・電気機械は、生産水準が低下。回転電気機械などが減産（長野）。コンピュータ数値制御装置の受注・生産は高水準に推移。水晶振動子は、スマートフォン向けの受注・生産が増加。リードフレームは車載向けを中心に受注・生産が横這い（山梨）
- ・情報通信機械は、生産水準が上昇。電子計算機および関連装置などが増産（長野）
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が低下（長野）、低水準（新潟）、電子部品などが減産（長野）
- ・輸送機械は、生産水準が低下。海外向けの船舶の生産に動き。国内自動車メーカーの在庫調整の影響から、自動車部品関係は弱含み（新潟）。自動車部品の受注・生産が横這い圏内で推移（山梨）
- ・化学は、生産水準が低下。肥料向けの原材料が弱含み（新潟）
- ・ニットは、生産が前年比減少（新潟）、受注は横這い圏内の水準（山梨）。ネクタイ地の受注・生産は横這いで推移、紳士服裏地は受注・生産が前年比減少。洋傘地は前年並みの水準（山梨）
- ・食料品は、生産水準が上昇（長野）。米菓や水産練り製品の生産が堅調。清酒は、出荷量が前年並み（新潟）。ワインは、出荷が前年並み（山梨）
- ・宝飾は、受注・生産が弱含み（山梨）

観光は、外国人客を中心に温泉地、観光地への入込が増加し、上向き。

- ・4月の県内観光は、外国人観光客を中心に増加（山梨）
- ・大型連休中（4月25日 - 5月6日）の県内主要観光地は、入込客数が前年比増加（長野）

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、情報通信業、サービス業で新規求人数が増加するなど、持ち直し。

先行きは、緩やかな持ち直しに向かうとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
								



北陸の景況は、公共工事が減少傾向にあるものの、住宅建築が上向き、個人消費、生産活動が持ち直すなど、やや上向き。

個人消費は、乗用車販売が普通・小型乗用車、軽乗用車ともに減少したものの、大型小売店販売で家電品に動きがみられるなど、一部持ち直し。住宅建築は、持家、分譲住宅が減少したものの、貸家が増加するなど、上向き。設備投資は、製造業、非製造業ともに投資計画を積み増す動きがみられるなど、やや上向き。公共工事は、国、独立行政法人等が減少するなど、減少傾向。輸出は、一般機械、精密機器に加え、地場産業の眼鏡・眼鏡枠も増加。

生産活動は、輸送機械が減少したものの、汎用・生産用・業務用機械が増加したほか、医薬品も高水準の生産を持続するなど、緩やかな持ち直し。

- ・鉄鋼は、生産水準が低下（富山）
- ・非鉄金属は、生産水準が低下（富山）
- ・金属製品は、生産水準が上昇（富山） 低下（石川）。アルミニウム非建材製品、住宅規格商品の生産・出荷は減少、民生用包装容器の生産・出荷は増加（富山）
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（富山、石川）。自動車、航空機向けの軸受の生産は横這い、出荷は増加（富山）
- ・電気機械は、生産水準が上昇（富山、石川）。半導体、電子機器が減産（富山）
- ・輸送機械は、生産水準が低下（富山）
- ・窯業・土石製品は、生産水準が低下（富山、石川）
- ・化学は、生産水準が低下（石川）
- ・プラスチック製品は、生産水準が上昇（富山）
- ・パルプ・紙・紙加工品は、生産水準が低下（富山）
- ・医薬品は、高水準の生産を持続（富山）
- ・食料品は、生産水準が上昇（石川）
- ・繊維は、生産水準が上昇（石川） 低下（富山、福井）

観光は、北陸新幹線の開業効果から、観光地への入込客が増加するなど、上向き。

- ・4月の県内主要温泉地の浴客数は、前年比増加。主要観光地の入込客数は、北陸新幹線の開業効果から、兼六園観光客数が前年比増加。特に外国人観光客が引続き増加（石川）
- ・3月の宇奈月温泉宿泊客数は、前年比増加（富山）
- ・3月の芦原温泉宿泊客数は、前年比増加（福井）

雇用は、建設業、情報通信業、医療・福祉、卸・小売業などで新規求人数が増加するなど、持ち直し。

先行きは、北陸新幹線開業効果もあり、緩やかな持ち直しに向かうとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

東海の景況は、設備投資、生産活動は横這いとなったものの、輸出が持ち直すなど、緩やかながら持ち直し。

個人消費は、百貨店販売、スーパー販売ともに増加したものの、乗用車販売が減少するなど足踏み。住宅建築は、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少するなど、弱含み。設備投資は、一部に投資計画を積み増す動きがみられるものの、全体として横這い圏内。公共工事は、国、独立行政法人等が減少するなど、弱含み。輸出は、自動車、金属加工機械が増加するなど、緩やかな持ち直し。

生産活動は、輸送機械が増加したものの、電気機械、化学が減少し、横這い圏内。

- ・鉄鋼は、生産水準が上昇（愛知）
- ・金属製品は、生産水準が上昇（愛知） 低下（岐阜）
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（岐阜） 低下（静岡、愛知） 金属工作機械は、生産水準が上昇（愛知） 生産用・業務用機械は、生産水準が低下（三重）
- ・電気機械は、生産水準が上昇（静岡） 低下（岐阜、愛知）
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が低下（三重）
- ・輸送機械は、生産水準が上昇（岐阜、静岡、愛知、三重）
- ・窯業・土石製品は、生産水準が上昇（岐阜）
- ・化学は、生産水準が上昇（三重） 低下（岐阜、静岡、愛知）
- ・プラスチック製品は、生産水準が上昇（岐阜、静岡、愛知）
- ・繊維は、生産水準が上昇（岐阜）
- ・食料品は、生産水準が上昇（愛知、三重） 低下（静岡）

観光は、観光地、温泉地の入込客が増加するなど、上向き。

- ・4月の長良川温泉宿泊客数は、前年比増加（岐阜）
- ・4月の伊豆地区主要旅館の売上高は、前年比増加（静岡）
- ・4月の中部国際空港の旅客数は、前年比増加（愛知）

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、所定外労働時間も増加するなど、緩やかな回復。

先行きは、緩やかな持ち直しが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

近畿



近畿の景況は、住宅建築が弱含み、設備投資が伸び悩んだものの、個人消費が持ち直し、全体としては横這い。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、大型小売店販売で、衣料品、飲食料品を中心に増加するなど、全体では底固い動き。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少し、弱含み。設備投資は、大企業で投資計画を積み増す動きがみられるものの、中小企業で投資抑制姿勢がみられるなど、全体では伸び悩み。公共工事は、府県、市町村が増加し、足許増加。輸出は、米国、欧州向けが増加したものの、伸びは限定的。

生産活動は、電子部品・デバイスが増加したものの、鉄鋼、化学に弱い動きがみられ、全体では横這い圏内。

- ・鉄鋼は、生産水準が横這い（兵庫） 低下（和歌山）
- ・金属製品は、生産水準が上昇（滋賀、和歌山） 低下（奈良）
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（滋賀、和歌山） 低下（奈良） 自動車向け、半導体関連が好調（京都） 発電用機械が下げ止まり、産業用機械が回復（兵庫）
- ・電気機械は、生産水準が上昇（滋賀、奈良） 自動車関連、産業用機械向けが持ち直し（兵庫）
- ・電子部品・デバイスは、スマートフォン向けがフル操業、自動車向けが高操業、家電向けも足許回復傾向、太陽光発電向けはメガソーラー向けが低調、住宅向けは持ち直し（京都）
- ・輸送機械は、生産水準が上昇（奈良） 低下（滋賀） 自動車が高操業（京都） 造船が下げ止まり、航空機が好調に推移、自動車は弱含み（兵庫）
- ・窯業・土石製品は、生産水準が低下（和歌山）
- ・化学は、生産水準が上昇（奈良） 低下（滋賀、和歌山）
- ・石油・石炭製品は、生産水準が低下（和歌山）
- ・プラスチック製品は、生産水準が低下（滋賀）
- ・食料品は、生産水準が上昇（和歌山） 低下（滋賀） 清酒の蔵出量が減少（京都）
- ・丹後ちりめん、西陣帯地が減産（京都） 繊維は、生産水準が上昇（和歌山）

観光は、ホテルの客室稼働率が上昇するなど、持ち直し。

- ・5月の白浜温泉宿泊客数は、4か月連続で前年比増加（和歌山）
- ・4月の県内主要観光地の入込客数は、一部の県立施設が増加したものの、彦根城などの歴史観光施設や道の駅が伸び悩み（滋賀）
- ・4月の主要ホテルの客室稼働率は前年比低下したものの高水準、宿泊客数は増加（京都）
- ・4月の主要ホテルの客室稼働率は前年比上昇、宿泊客数も増加（奈良）
- ・3月の神戸市内主要ホテルの客室稼働率は、大型コンベンションの開催やインバウンドツアーの増加から、高水準で推移（兵庫）

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、現金給与総額が増加するなど、緩やかな持ち直し。

先行きは、緩やかな持ち直しに向かうとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢



中国の景況は、輸出、雇用が持ち直したものの、公共工事が弱含み、全体として横這い圏内。

個人消費は、大型小売店販売が増加したほか、乗用車販売も普通・小型乗用車で増加するなど、底固い動き。住宅建築は、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少し、低調。設備投資は、建築着工床面積が増加するなど、緩やかな持ち直し。公共工事は、国、独立行政法人等、県、市町村いずれも減少し、弱含み。輸出は、自動車、電気機械、化学が増加するなど、緩やかな持ち直し。

生産活動は、電子部品・デバイスが増加したものの、汎用・生産用・業務用機械が減少し、全体では横這い。

- ・鉄鋼は、生産水準が上昇（岡山） やや弱含み（山口）。特殊鋼が減速感、工作機械用鋳物は、増加基調（島根）
- ・電気機械は、生産水準が上昇（広島）
- ・汎用・業務用・生産用機械は、生産水準が低下（広島）
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（鳥取）。自動車、通信機器向けを中心に緩やかな増加傾向（島根）
- ・自動車は、生産水準が上昇（広島） 高めの稼働率を維持（山口）、低下（岡山）
- ・生コンは、出荷が大幅な増加を期待しにくい状況、石州瓦は生産調整の動き（島根）
- ・化学は、生産水準が低下（岡山） 総じて高水準（山口）
- ・食料品は、生産水準が上昇（鳥取）

観光は、温泉地、観光地により明暗が分かれ、横這い圏内。

- ・4月の主要温泉地宿泊客数は、三朝温泉が増加したものの、皆生温泉、はわい温泉が減少し、全体では前年比減少（鳥取）
- ・4月の県内主要観光地入込客数は、3か月ぶりに前年比減少（岡山）
- ・3月の主要温泉宿泊客数、主要観光施設利用者数ともに11か月連続で前年比減少。出雲大社の遷宮特需の反動が出ている（島根）
- ・3月の松陰神社の入込客数が5か月連続で増加したほか、秋芳洞の入洞者数が増加し、明るさに広がり（山口）

雇用は、有効求人倍率が上昇するなど、持ち直し基調。

先行きは、不透明感が残るものの、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

四 国

四国の景況は、個人消費が持ち直し、住宅建築が上向きとなるなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が普通・小型乗用車、軽乗用車ともに減少したものの、大型小売店販売は食料品、家電品などが増加し、持ち直しの動き。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも増加し、上向き。設備投資は、製造業で投資計画を積み増す動きがみられる。公共工事は、国、県が減少したものの、市町村が増加し、やや上向き。輸出は、化学製品が増加したものの、船舶が減少するなど、足許減少。

生産活動は、汎用・生産用・業務用機械、化学が増加したものの、非鉄金属が減少するなど、横這い圏内。

- ・ 非鉄金属は、生産水準が低下（香川）
- ・ 金属製品は、生産水準が上昇（徳島） 低下（香川）
- ・ 汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（徳島、香川、愛媛）
- ・ 電気機械は、生産水準が上昇（徳島、高知） 低下（愛媛）
- ・ 輸送機械は、生産水準が上昇（徳島） 低下（愛媛）
- ・ 窯業・土石製品は、生産水準が上昇（香川）
- ・ 化学は、生産水準が上昇（徳島）
- ・ プラスチックは、生産水準が低下（徳島）
- ・ 食料品は、生産水準が低下（愛媛）

観光は、観光地への入込客やホテル・旅館の宿泊客数が減少するなど、足踏み。

- ・ 4月の徳島市内主要ホテル・旅館の宿泊客数は、インターネット予約によるビジネス客が堅調に推移したものの、前年の霊場開創1200年効果の反動から、全体では前年比減少（徳島）
- ・ 4月の県内主要観光地入込客数は、前年比減少（香川）
- ・ 4月の県内主要観光施設利用実績は、5か月連続で前年比減少。高知市内主要ホテル・旅館の宿泊客数は、6か月ぶりに前年比減少（高知）
- ・ 3月の道後温泉旅館宿泊客数、県内主要観光施設の入込客数ともに前年比増加（愛媛）

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、卸売業・小売業、医療・福祉、宿泊業・サービス業などで新規求人数が増加するなど、緩やかながら回復に向けた動き。

先行きは、緩やかな持ち直しが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								



九州の景況は、輸出が減少したものの、生産活動が上向き、個人消費が持ち直すなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、乗用車販売で普通・小型乗用車、軽乗用車ともに減少したものの、大型小売店販売で衣料品、飲食料品が好調となるなど、持ち直し。住宅建築は、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少するなど、横這い圏内。設備投資は、製造業で電気自動車関連、非製造業で大型不動産などの投資計画を積み増す動きがみられ、緩やかな持ち直し。公共工事は、国が増加したものの、県、市町村が減少し、足踏み。輸出は、一般機械が増加したものの、韓国および香港向けの電子部品が減少し、足許減少。

生産活動は、輸送機械が減少したものの、電子部品・デバイスが増加し、やや上向き。

- ・鉄鋼は、生産水準が上昇（大分）
- ・非鉄金属は、生産水準が低下（佐賀）
- ・金属製品は、生産水準が上昇（熊本）
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が低下（熊本、大分）。機械・重電は生産高が増加（長崎）
- ・電気機械は、生産水準が上昇（佐賀、熊本、大分）
- ・情報通信機械は、生産水準が低下（佐賀）
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（福岡、大分） 低下（長崎）。自動車向け、スマートフォン向けが堅調（鹿児島）
- ・輸送機械は、生産水準が低下（福岡）。大手・中堅造船は生産高が増加（長崎）
- ・窯業・土石製品は、生産水準が低下（宮崎）
- ・化学は、生産水準が上昇（佐賀） 低下（熊本）
- ・食料品、生産水準が上昇（佐賀） 低下（福岡、大分、宮崎）。焼酎は、生産が減少（鹿児島）

観光は、温泉地、観光地への入込客が増加するなど、上向き。

- ・4月の唐津地区は、天候に恵まれず、宿泊者数が前年並み。嬉野地区は、宿泊者数が前年並み。外国人客が韓国を中心に引続き堅調（佐賀）
- ・4月の主要宿泊施設宿泊客数は前年比増加、3月の主要観光施設入場者数は増加（長崎）
- ・4月の別府周辺地区の入込みは、宿泊者数、レジャー施設入場者数がともに前年比増加（大分）
- ・4月の県内主要ホテル・旅館の宿泊客数は、関東地区などからの入込客が減少し、全体では2か月連続で前年比減少。主要観光施設入場者数は、ほとんどの施設で減少（鹿児島）

雇用は、サービス業、卸・小売業で新規求人数が増加したほか、有効求人倍率も上昇するなど、持ち直し。

先行きは、緩やかな持ち直しが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

沖縄の景況は、個人消費が持ち直し、観光が回復するなど、拡大。

個人消費は、乗用車販売は軽乗用車が振るわず減少したものの、百貨店販売、スーパー販売ともに増加するなど、持ち直し。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少し、足許減少。設備投資は、建築着工床面積が減少したものの、貨物車販売が増加するなど、横這い圏内。公共工事は、国、独立行政法人等、県、市町村いずれも減少するなど、足許減少。輸出は、輸送用機器が減少したものの、再輸出品、飲料品が増加するなど、上向き。

生産活動は、横這い圏内。

- ・ 金属製品、化学・石油製品、食料品は生産水準が低下したものの、窯業・土石製品、鉄鋼が上昇し、3月の鉱工業生産全体では前月上昇。
- ・ 4月の生コン出荷量は、前年比減少。
- ・ 4月のセメント出荷量は、4か月連続で前年比減少。

観光は、国内客、外国人客ともに増加し、好調。

- ・ 4月の入域観光客数は、航空路線の拡大などから、国内客が増加したほか、航空路線の拡大やクルーズ船の寄港回数増加などから、外国人客が増加し、全体では31か月連続で前年比増加。
- ・ 4月の主要ホテル客室稼働率は、2か月ぶりに前年比増加。売上高は、2か月ぶりに前年比増加。
- ・ 4月の主要ゴルフ場入場者数は、6か月連続で前年比増加。

雇用は、現金給与総額が増加したほか、有効求人倍率も上昇するなど、緩やかに回復に向けた動き。

先行きは、拡大が続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								